

長期の積立・分散投資だと何が良いの？



経営環境研究部 研究員 神村 玲緒奈(かみむら れおな)

長期の積立・分散投資に適したつみたてNISA

我が国では、国民の資産形成を後押しするため、「NISA」と呼ばれる少額投資非課税制度の整備が進んでいます。NISAでは、毎年一定金額内で購入した株や投信などから得られる利益が非課税になります。NISAのうち、2018年1月から始まった「つみたてNISA」は、長期の積立・分散投資に適したNISAとして導入され、制度開始から1年で100万口座を越えました。この「長期の積立・分散投資」という特徴には、どのようなメリットがあるのでしょうか。

リスクを軽減し、安定したリターンが期待できる

「長期の積立・分散投資」のメリットの一つに、リスクの軽減効果があります。値動きの異なる複数の資産に投資対象を分散させることで、価格変動幅を低くする効果が期待できるのです。また、積立投資として定期的に行うことによって、安いときを買わなかったり、高いときだけに買ってしまったりするリスクを避けられる点もメリットです。

さらに、こうした積立投資を長期間続けると、収益率が一定の範囲に収斂し、結果的に元本割れする可能性が低くなる傾向があります(資料1)。

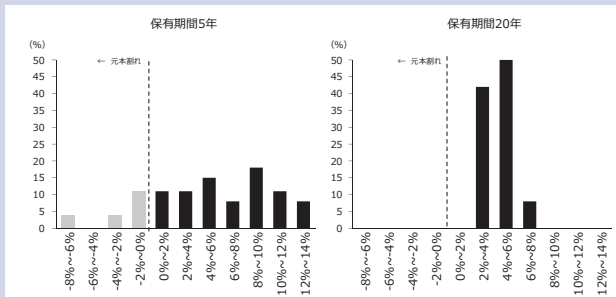
つまり、「長期の積立・分散投資」を行なうことで、リスクが軽減され、安定したリターンが期待できるというわけです。

つみたてNISAは若い世代に利用されている

つみたてNISA利用者の年齢構成は、20～40代が65%を占めており、一般NISAと比べて若い世代が多いことが分かります(資料2)。また、日証協によれば投資未経験者の割合は60%以上を占めており、一般NISAと比べて非常に高くなっています(資料3)。

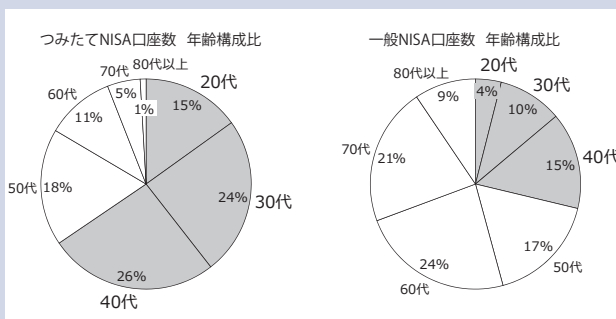
平均寿命の延伸に伴って老後の必要資金の増加が予想される中、若い世代ほど老後に向けた資産形成を行う必要があります。つみたてNISAはその一助として、資産形成を支援していると考えられます。

資料1 国内外の株式・債券に分散投資した場合の収益率の分布



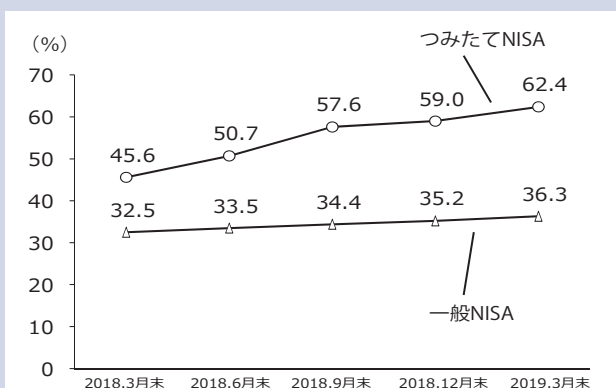
(注) 1985年以降の各年に、毎月同額ずつ国内外の株式・債券の買付けを行なったもの。各年の買付け後、保有期間が経過した時点での時価をもとに運用結果及び年率を算出している
(出所) 金融庁「つみたてNISAについて(平成29年7月)」

資料2 つみたてNISA・一般NISAの年齢構成比



(出所) 金融庁「NISA口座の利用状況調査(平成30年12月末時点)」より筆者作成

資料3 つみたてNISA・一般NISAの投資未経験者割合



(注) 証券会社でNISA口座を開設した人(一般NISA口座の約7割、つみたてNISAの約5割)のうち、投資未経験者の割合
(出所) 日本証券業協会「NISA口座開設・利用状況調査結果(2019年3月31日現在)」についてより筆者作成